

# トヨ子&としやの 市政報告

2015年  
9月  
第2号

発行者：日本共産党大垣市議団  
発行日：2015年9月1日  
連絡先：大垣市室本町5-8  
Tel 78-6865 Fax 73-8572



笹田トヨ子 文教厚生委  
子育て支援日本一対策委員長  
Eメール sanba1@sasada-toyoko.jp

中田としや 企画総務委  
Eメール nakatatoshiya015@gmail.com



## 8/30 戦争法案許さないの声 頂点に 戦争法案の廃案を求める請願、9月議会に 紹介議員に笹田・中田議員

養老鉄道にのって平和叫ぶ  
西濃アクションに500人  
8月30日、「戦争法案廃案・  
安倍政権退陣」を掲げて呼びかけ  
られた国会10万人・全国100  
万人の大行動。

この西濃地域においても、「も  
う黙っとれん西濃アクション実行  
委員会」の計画で、養老鉄道に乗っ  
て、大垣・養老・駒野と駅前で集  
会を開いて、訴えました。



この日は雨混じりでしたが、戦  
争体験者や現役の子育て世代・お  
年寄りから子どもまでさまざまな  
分野の人々が参加し、「安倍政治  
辞めろ」「戦争法案廃案」を訴え  
ました。



反対はさらに広がりを見せ、子  
どもの未来と平和のためにと「西  
美濃パパママ安保法案がこわくて  
たまらない会」も結成され、大垣  
駅前で声をあげました。

笹田・中田議員を紹介議員に  
戦争法案の廃案を求める請願  
9月議会には、年金者組合西濃支  
部から「安全保障関連法案の廃案  
を求める請願」が提出されます。

法案をめぐるっては、6月議会に  
も、新日本婦人の会が慎重審議を  
もとめる意見書提出の請願が出さ  
れましたが、委員会で不採択になっ  
ていますが、市民の反対の声の高  
まりに市議会がどのように応える  
かが注目されます。

養老鉄道存続で岐阜県に要望  
8月28日、岐阜県庁において、  
日本共産党岐阜県委員会と県下の  
議員による2016年度予算要望  
の県交渉が行われました。西濃議  
員団は地域住民の足となる養老鉄  
道の存続を求めて、岐阜県が率先  
して力を発揮するよう求めました。  
養老鉄道の存続については、その  
あり方について近鉄と粘り強く話  
し合っている段階であり、県とし  
ても話し合いには責任をもって参  
加していくという答弁でした。議  
員団としては、養老鉄道は2県7  
市町にまたがり、存続させるには  
岐阜県の役割は大きく、経営等  
において積極的に関わるよう求め  
ました。



国民の立場で真実を伝え続ける  
しんぶん赤旗をお読みください。  
日刊紙...3497円 日曜版...823円

### 大垣市議会 平成27年第3回定例会日程表 9月

- 7日(月) 9時30分 議員総会 10時 本会議(提案説明)
- 9日(水) 一般質問申し込み・質問順抽選(10時)
- 14日(月) 10時 本会議(一般質問)
- 16日(水) 10時 決算委員会
- 17日(木) 10時 子育て支援日本一対策委員会  
13時 市民病院に関する委員会
- 18日(金) 10時 建設環境委員会  
13時 経済産業委員会
- 24日(木) 10時 文教厚生委員会  
13時 企画総務委員会
- 25日(金) 9時30分 議会運営委員会 10時 本会議

### トヨ子&としやの活動日誌

#### 笹田トヨ子

- 8月
- 7日 共産党岐阜県議員研修
- 9日 全国障害者問題研究会全国大会
- 15日 大垣市戦没者・戦災死没者追悼式
- 19日 地域交通政策研究会
- 26日 岐阜市生活・就労サポートセンター訪問
- 28日 共産党議員団対県交渉
- 30日 西濃アクションon養老鉄道
- 31日 議会運営委員会

#### 中田としや

- 8月
- 7日 共産党岐阜県議員研修
- 15日 戦没者・戦災死没者追悼式
- 19日 市民活動推進センター訪問
- 19日 養老鉄道学習会
- 27日 介護保険事業運営委員会傍聴
- 29日 赤坂地域街頭宣伝
- 30日 西地区市政報告
- 30日 西濃アクションon養老鉄道

### 国民健康保険制度はようになる 学習会のご案内

講師...寺内順子氏(大阪社保協事務局長) 「基礎から学ぶ国保」著者  
とき.....10月4日(日)13:30~16:30



# 2016年度大垣市予算への 要望書を提出

来年度予算編成にあたり、9月2日、共産党会派として20項目の予算要望書を提出しました。その中から、新しく要望した内容について2点お知らせします。

## 川遊びに子ども用のライフジャケットの貸出を

上石津の多良峡は、夏、川遊びで多くの子どもたちが訪れます。魚釣り、キャンプ、バーベキュー、

水泳などこの時期一番賑やかになります。この時、水の事故を防ぐためのライフジャケットがあれば安心。公立保育園では、川遊びにライフジャケットを着用します。是非、多良峡に来た子ども達がライフジャケットを着用出来るよう、公園に備えて欲しいものです。

## 大垣の公衆トイレも 街のおもてなし役に

ハツラツ市等イベント時多くの人が大垣を訪れますが「トイレが汚い」とか「駅前のトイレが古くて暗い」といったあまり良いイメージはもたれていません。

トイレの専門家は、公衆トイレは“まちのコンシェルジュ”といい、行政は公衆トイレをまちの顔として、また自治体の顔として考えることが大切と指摘しています。公衆トイレをまちの顔として、清掃管理にもっと気を使うべきです。

9月議会に提出される議案は28議案ありますが、いくつかの補正予算案とともに、マイナンバー制度導入にともなう議案が目を見ます。

## 10月以降家庭に通知

マイナンバーは、10月以降に、市から住民票に登録されている住所あてに通知カードが送付されます。

## マイナンバー制度始まる その運用に国民的な監視を

個人番号カードは、ICチップがついたカードで、氏名・住所・生年月日・性別の記載の他、と顔写真が添付されて身分証明書になっており、運用開始の1月から申請すれば希望者に交付されるということです。

コンピューターで処理される数々の情報がマイナンバーで結び付けられていけば、個人は丸裸にされるのも同然。その情報が漏れれば、被害ははかりしれません。その例は、日本年金機構の情報流出にかぎらず、しばしば報道されているところです。

マイナンバーは、つまるところ行政の利便性のためのもの、行政の効率化に協力はしますが、国民を追い詰めることにはなりません。今後ともしっかり監視をしていく必要があります。



## 問題山積の制度 運用の監視の強化を

以前から「国民総番号制度」としてあらゆる個人情報を国が一元的に管理するものとして批判の強かった制度です。

「マイナンバー」とことばをやらげ、CMで甘利大臣がぎこちなく歌を口ずさんで笑いかけますが、その危険な本質は変わりませぬ。

## 平成28年1月から運用開始

来年1月からは、市役所の窓口で社会保障・税・災害対策の申請や届出をするときに、個人番号の記入が必要となります。

このとき、窓口では個人番号とともに身分確認が求められます。そのため、個人番号カードか、先に送られた通知カードと運転免許証など、のいずれかが必要になります。

## 2016年度大垣市予算に関する要望書 大垣市長 小川 敏 様

2015年 9月1日  
日本共産党大垣市議会議員  
笹田トヨ子 中田としや

市政運営への日頃のご努力に敬意を表します。

2016年度の大垣市予算編成にあたり、以下の要望を提出いたします。ご検討の上、誠意あるご回答を求めます。

### (社会福祉)

- 生活困窮者自立相談支援事業について、相談者の主訴がしっかり受け止められ、問題解決の見通しが着くまで、寄り添いながら自立に向けた支援の充実を求めます。
- クリーンセンターにおける障害者の一般就労のあり方について、働きやすい職場にするため、ジョブコーチの配置や障害就労者の状況にあった勤務時間にするなど柔軟な対応を求めます。

### (教育・子育て)

- 奨学金の充実を求めます。
- 学校給食費の無料化を求めます。
- 就学援助制度について、入学に際し就学援助の説明文書と併せて申請用紙を付けて配布してください。
- 未満児保育の定員を増やし、育休中でも未満児の保育を受け入れてください。
- 上石津多良峡等で川遊びを行う場合、子ども用ライフジャケットの貸出を行ってください。
- 図書館、スイトピアセンターの駐車料金無料化を30分から1時間に延ばしてください。

### (介護・医療)

- 「垣老」制度の存続を求めます。
- (市民病院)
- バス通院の患者さんのためバス路線の市民病院への乗り入れを求めます。
- 付き添いのいない車椅子の方など、一人では何かと不自由な通院患者さんのため、外来にヘルパーの配置を求めます。
- 看護師確保のため、定年退職者再任用において、今までと同じ労働条件で採用されていかがか。

### (地域交通政策について)

- 高齢化社会に対応した市民参加による総合交通政策づくりを求めます。そして高齢者が気軽に街中に出られるよ

うに、安価な料金設定や鉄道や路線バスと地域のコミュニティバスとの連携など、地域の実情にあった地域交通政策を求めます。

- バス等公共交通の利用者を増やすため、大垣市の施設紹介では公共交通を利用したアクセスの案内を掲載すること。
- 養老鉄道の存続のために、あらゆる努力を求めます。  
(上石津地域要求)
- 森林保全対策を。国内産木材の需要減少により、森林が放置され荒廃し土石流災害などが頻発するようになってきた。災害後、復旧に莫大な費用を浪費している。森林保全対策を強化して欲しい。
- 獣害対策を
  - 鹿：防護柵が設置され、農作物に対する食害は多少減少したが、頭数を減らす抜本的対策強化して欲しい。
  - 猿：全く対策が進んでおらず、農作物に大きな被害をもたらす。耕作放棄地が増大している。他県の対策などを調査し、対策をお願いしたい。
  - 猪：稲作については電気柵を設置し大きな被害はないようだが、あらゆるところが掘り起こされ土石流災害の原因にもなっているように思える。頭数の削減などの対策を。
- 風力発電計画について情報提供を。
  - 日本最大級と言われる(1機3000kW)風力発電建設計画について低周波被害など住民の不安が起こっている。風力発電について様々な問題が各地で指摘されている。大垣市として風力発電の現状を調査し住民に知らせたい。
  - 岐阜県警が風力発電反対の人の個人情報を一企業に漏らし、住民運動つづしが起こっている。問題点を明らかにして、岐阜県警・シーテックに抗議して欲しい。
- (その他)
- 公衆トイレについて  
イベント時、中心市街地の公衆トイレが汚れるので、トイレの清掃について改善を求めます。また、大垣駅前の公衆トイレが古くて暗いという声があり、改修を求めます。
- 長年続いたグランドルールに基づく不当な「合理化協定」を廃止し、公正な契約に切り替えるよう求めます。